

第65回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 録	日時	令和3年4月6日(火) 9:50~10:40	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、梅原企画政策課長、宮奈地域安全課長、石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長、堤健康課副参事、亀山地域安全係長、健康係主任			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルスワクチン接種について</li> <li>2 医師会から市民に向けたメッセージ</li> <li>3 新型コロナウイルス感染症 小金井緊急対応方針の対応状況</li> <li>4 各部連絡事項</li> </ol>			
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小金井市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画</li> <li>・新型コロナウイルスワクチンについて その5 ～筋肉注射について～</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の概要(経済課)</li> <li>・コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染増加に伴う緊急申し入れ</li> </ul>			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <p>東京都の新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、第4波と言える状況にある。小金井市も同様であり、市内の累積感染者は682名となり、全人口で換算すると182人に1人が感染したことになる。4月に入ってから感染拡大が続いている。感染しない、感染させない行動が大切であり、感染予防に向けた取り組みも粘り強く推進していきたい。</p> <p>本日の第65回小金井市新型コロナウイルス等対策本部部会の付議事項は、1. 新型コロナウイルスワクチン接種について、2. 医師会から市民に向けたメッセージ、3. 新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針の対応状況、4. 各部連絡事項となっている。3. 新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針の対応状況については主に経済対策について経済課より総括的に報告してもらう。</p> <p>全国で変異株「E484K」や「N501Y」なども感染拡大が続くなど緊張状態が続いている。情報共有を密にするとともに希望者に円滑にワクチン接種を推進できるよう全庁あげて協力してほしい。市民の健康を守るため、市内の医療を守るため、応援体制や協力要請等に協力してほしい。</p> <p><b>【新型コロナウイルスワクチン接種について】</b></p> <p>(健康課副参事)</p> <p>新型コロナワクチン小金井市接種計画方針について、本市の接種計画の特徴、本市がめざす</p>				

もの、接種スケジュール、想定する接種数、ワクチン接種体制等を説明。新型コロナワクチン  
小金井市接種計画方針は4月26日から始まるワクチン接種を分かりやすく説明したもので、4月8日付で策定したい。

(福祉保健部長)

何かあれば今日中に連絡してほしい。4月5日に八王子市がワクチン接種の予約を開始したが、報道等では開始から1時間30分程度で予約が終わったようだ。4月末には小金井市にワクチンが届くが、これは医療従事者を対象に医療機関で接種するものである。5月10日以降に市民向けワクチンが届く予定になっている。一気に予約を受け付けるのではなく、予約枠を段階的に広げていく方策を考えている。これについても4月9日までには決めておかないといけない。

(市長)

通達や情報等があふれており、いろいろ変更等もあるが、円滑に進めてほしい。47の医療機関で接種できるというのが本市の特徴と考えている。

(健康課副参事)

初回送付の975回は優先度の高い人を対象とした2回接種分であり、医療機関での医療従事者用と考えている。

(庁舎建設等担当部長)

2回目に送付される数量はいつ頃決まるのか？

(健康課副参事)

未定であるが、1週間で4～6箱と想定している。

(庁舎建設等担当部長)

数量が未定である中、予約受付を行っても大丈夫なのか？

(健康課副参事)

数量を予想しながら予約していく。

(庁舎建設等担当部長)

個別接種と集団接種は同じシステムで予約していくのか？

(健康課副参事)

予約の枠を公開枠と非公開枠に分けて、枠を管理しながら受け付けていく。

(コロナ対策担当課長)

厚生労働省のワクチン接種円滑化システム(V-SYS)により承認された分を接種していくことになる。

(市長)

4月14日に2回目のシミュレーションを行うが、今後のスケジュール全般について説明してほしい。

(コロナ対策担当課長)

4月9日19時から医師会で予約システムについて説明会を開催する。

4月14日13時30分から1時間～1時間半かけて保健センターで入場から退場までの時間を測定しながらシミュレーションを行う。時間を測定しながら行うため、マスクはなしで、医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション等に協力してもらいながらシミュレーションを行う。医療関係者以外にもスタッフが20名程度必要と考えているため、応援要請をさせていただき予定である

4月15日号の市報には高齢者向けの接種情報を掲載する。

4月19日から高齢者向けの接種券を発送する。

4月23日予約受付開始

5月10日から個別接種開始

5月12日緑センターで集団接種、13日保健センターで集団接種、15日午後緑センターで集団接種、16日保健センターで集団接種という流れである。

4月14日のシミュレーションとは別に、土日に保健センターから緑センターへワクチンを搬送する職員も応援で協力してほしい。

(総務部長)

4月14日のシミュレーションの応援も早めに調整・連絡してほしい。

土日のワクチン搬送についても一般職の休日時間外勤務命令で行うのか、管理職対応で行うのか、早めに全庁にお知らせしてほしい。

#### 【医師会から市民に向けたメッセージ】

(コロナ対策担当課長)

医師会から市民向けメッセージについては本日中にホームページに掲載する。

#### 【新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針の対応状況】

(経済課長)

これまでの新型コロナウイルス感染症対策の概要を報告する。

##### 1 概要

###### (1) 緊急対応方針第1弾（令和2年4月24日公表）

###### ① 融資相談専門窓口の開設

東京都の専門家派遣制度を活用し、5月7日から7月31日までの間、中小企業診断士による相談窓口を開設。相談件数は65件である。

###### ② 市内事業者の資金繰り支援

小口事業資金融資あっせん制度の経営安定化緊急資金融資における申し込み要件の緩和（3月18日から）及び利子を全額市負担とする制度（4月28日から）の運用を開始。申請件数は25件である。

###### ③ 地域のニーズを踏まえた飲食店への支援

市内事業者間の連携による「小金井お弁当プロジェクト」など、弁当のテイクアウト

やデリバリーの取組に対して市ホームページ及び公式ツイッター、C-ナビでの情報提供を実施。

(2) 緊急対応方針第2弾（令和2年5月19日公表）

① 市内事業者の資金繰り支援

売上が15%以上減少している事業者の内、賃貸物件で事業を行っている事業者を対象に1物件当たり20万円を支給する事業継続支援給付金事業を開始。申請期間は6月8日から当初は8月末まで、その後申請状況を鑑み9月末まで延長、予算額は250,000千円、決算見込額は144,600千円、支給件数は644件、執行率は57.8%である。

(3) 緊急対応方針第3弾（令和2年8月12日公表）

① 市内事業者の資金繰り支援

売上が15%以上減少している事業者の内、事業継続支援給付金の対象とならなかった事業者に対して、1事業者当たり20万円を支給する事業者応援金事業を開始。申請期間は9月9日から11月末まで、予算額は186,000千円、決算見込額は133,595千円、支給件数は683件、執行率は71.8%である。

② 商工会実施事業への補助金交付

・プレミアム付き商品券事業

市内の消費喚起及び事業者支援を目的として、13,000円の商品券を10,000円で販売、20,000部発行した。現在、商工会において実績の取りまとめを行っているところであるが、販売実績は19,396部となっており、若干の未使用分を含め予算額80,000千円に対して決算見込額は約72,000千円、執行率は約90%となっている。

・応援弁当

市内飲食店の支援を目的として、本庁暫定庁舎敷地内において10月14日から3月12日までの毎週水・木・金曜日に弁当販売を実施、予算額は3,585千円、決算見込額は約3,118千円、執行率は約87%である。

・先売りチケット

市内の店舗・事業所で使用できる1枚1,000円の前売りチケットを3万枚発行し、資金面で事業者を応援することを目的として実施、チケットの販売期間は11月1日から3月15日、参加事業者数は26店舗、予算額は5,573千円、決算見込額は約4,000千円、執行率は約72%である。ただ、この対策については販売実績が260件程度にとどまっており、周知不足が原因と考えている。

③ 観光まちおこし協会実施事業への補助金交付

・ガイドブック作成及び活用事業

「新しい生活様式」に繋がる魅力をアピールすることを目的として、「小金井市ご近所活用ガイドブック」を10,000部作成することに加え、ガイドブック活用のため

の回遊イベントを実施する事業で、3月8日から3月28日までの間、「こがねいわくわくコビトびより」を実施、参加者は約960名となっている。

・こがねいコモンズ事業

少子高齢化社会における地域コミュニティの再生を図ることを目的としつつウィズコロナ時代にも対応した取組として、オープンスペースを活用した消費や交流の場の立上げと利活用を進めるプラットフォームを構築する事業で、令和2年度中には、事業性検証調査として、市民向け及び事業者向けのアンケート調査を実施した他、モデル事業として「道草市」を3回実施した。

(4) その他

- ① 市内事業者有志の取組である「小金井お弁当プロジェクト」事業への後援。
- ② 行政書士会による持続化給付金申請サポート事業への後援。
- ③ 青年会議所による「カモン！！こがねい」事業への後援。
- ④ セーフティネット保証4号、5号、危機関連保証の認定。経済課としては本件のポリシーが大きかった。リーマンショックのときよりも多く月に20件が来ている。

2 事業実施体制

観光まちおこし協会派遣職員の派遣解除、職員の応援派遣制度を活用し、令和2年3月中旬から令和2年12月中旬までの間、延べ6名（常時2名程度）の応援体制で業務を遂行。引き続き応援体制の協力をお願いしたい。

3 今後の展開

(1) 緊急対応方針第5弾（令和3年2月22日公表）

① 事業者の資金繰り支援

- ・事業者特別支援金（予算額：約1.5億円）

新型コロナウイルス感染症による影響が拡大・長期化しているため、売上が15%以上減少している事業者に対して10万円の支援金を支給する。5月中旬を目途に申請受付を開始予定である。

- ・小口事業資金融資あっせん制度における経営安定化緊急資金融資の利子を全額市負担とする制度（令和2年度からの継続）の運用を6月末まで延長

② 地域振興券（予算額：約3.6億円）

市内消費の喚起及び市内事業者の支援を目的として、全市民を対象に一人当たり2,500円の地域振興券を発行する。商工会との共同事業として令和3年10月頃を目途に実施予定

③ 商工会への補助金（予算額：約660万円）

- ・応援弁当（令和2年度からの継続）

4月7日（水）から再開予定

④ 観光まちおこし協会への補助金（予算額：約780万円）

- ・こがねいコモンズ事業（令和2年度からの継続）

4月17日（日）第4回道草市を本町住宅公園で開催予定

(2) その他

- ① キャッシュレス決済ポイント還元事業：実施の方向で検討していく。まだ東京都の要綱が提示されていないため、確認していきたい。
- ② セーフティネット保証：継続していく。

4 市内事業者の状況

(1) 事業者アンケート

令和3年1月20日から2月9日までの間で小金井市観光まちおこし協会がインターネット調査により実施した市内事業者アンケート（サンプル数87）では、市内事業者の約7割が新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、売上、客足ともに減少しているとの結果が出ている。売上が増加している業種は、スーパーマーケット、テイクアウト専門店、教育事業者となっている。

また、行政が実施する新型コロナウイルス感染症対策として有効だと思うものについては、割合の高い順に、①感染予防のための情報提供、②資金面での支援、③地元での消費促進となっている。②③については十分／不十分の意見は双方あるだろうが、経済課で取り組んできた。

(2) 事業継続支援給付金・事業者応援金の分析

令和2年度に実施した事業継続支援給付金及び事業者応援金における業種別売上減少率は別紙1のとおりである。

(市長)

間断なく各種経済対策へ取り組んでいるところである。担当職員も努力している。経済対策は重要であり各部も引き続き協力してほしい。大半の事業者が売上大幅減少となっており、経済対策は引き続きやっていきたい。事業者の資金繰り支援は5月17日から受け付けできるようにしていく。

明日から応援弁当の販売も始める。職員の皆さんにも協力をお願いしたい。

市長への手紙に「コロナ」という項目を設けた。

青年会議所が全市民宛アンケートを行うこととなり、市も後援する。アンケートの結果を受けて8月頃、青年会議所から市への提言があると見込まれる。

【各部連絡事項】

(市長)

小金井病院で感染者が出ている。市もホームページに掲載している。小金井病院では専門チームが入って確認中である。

(福祉保健部長)

小金井市議会公明党から要望書が提出された。

日本共産党小金井市議団から申入書が提出された。

(教育長)

情報発信していただき感謝します。動画もわかりやすい。ツイッターは自分もフォローしたが職員もフォローして拡散してほしい。

(副市長)

この1年間、各部いろいろなことに取り組んでいただいた。1年間で振り返って総括しておくことが大切である。ワクチン接種については順を追って地に足をつけて着実に接種を進めていくべきであり、全庁あげて取り組んでいただきたい。

以上